



東京都済生会中央病院



平成29年度 救急科専修医研修プログラムの概要

(1) 本プログラムの特徴：

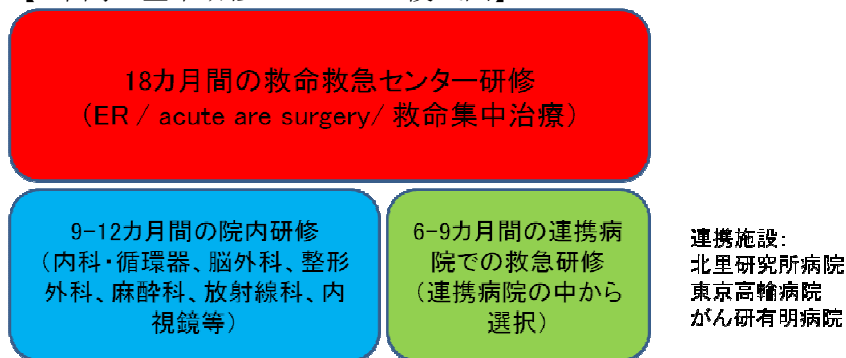
救急診療科では、救急科専門医を中心として、2011年度から北米型（ER型）救急医療を、2012年度から救命救急センターでの救命集中治療および Acute Care Surgery (ACS)を開始した。ER、ACS、Emergency Intensive Care Unit (EICU)では、オールラウンドな救急診療能力とともに、各領域の専門性を併せ持った救急医によるチーム医療が必須である。よって当科の救急科専修医研修では、傷病の種類や重症度に関わらない総合的救急診療能力の獲得を共通のコンポーネントとして、各専門分野での根本治療能力の養成にも注力し、**初期診療から手術治療や救命集中治療までを一貫して行える救急医の育成**に主眼を置く。本プログラム修了により、救急科専門医が申請可能となるだけでなく、集中治療専門医、外傷専門医、熱傷専門医の申請にも有効となる予定である。

(2) 本プログラムでの研修内容：

本プログラムは、原則として卒後3年目以降の医師を対象とした3年間のプログラムである。本プログラムの研修期間のうち、18か月間は当院救命救急センター（ER、ACS、EICU）での診断・治療を中心に研修する。残りの18か月間は、研修者の希望や他の研修状況にあわせて、院内の他科研修（内科・循環器科、脳卒中センター（神経内科、脳血管内治療科、脳外科を含む）、脳外科、整形外科、放射線科、内視鏡）と、近隣2次救急指定病院での救急研修とに携わる。院内他科研修については、概ね9-12か月間をこれに充て、将来希望する subspecialty の希望を考慮して研修内容を組む。近隣2次病院での研修は、概ね6-9か月間を充て、本人の希望とともにその時点での研修状況を考慮して、独自の救急診療体制や地域医療を学ぶ。

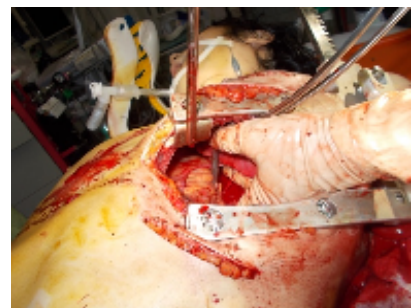
なお、心臓カテーテル検査をはじめとした血管造影検査や、上部消化管内視鏡検査・気管支鏡検査などの内視鏡検査を、週間スケジュールに組み込むことも検討できる。

【3年間の基本研修モジュール模式図】



注) 研修期間および内容は希望・研修状況により増減

(3) 処遇：月額給与税込 37-40万程度（時間外・当直料・賞与別）、社会保障充実、他院外研修可能（DMAT、各種インストラクターコース）



東京都済生会中央病院における救急科専修医研修の週間スケジュール例

	時刻	月	火	水	木	金	土	日
午前	7:30	ER						当番制
	8:30	救命センター多職種回診		明け休み	救命センター多職種回診			
	8:45	病棟チーム回診			病棟チーム回診			
	9:00	ER	病棟管理		ER	病棟管理		
午後	13:00	ER	病棟管理			ER	病棟管理	当番制
	17:30	病棟チーム回診		病棟チーム回診				
	18:00	症例カンファレンス		症例カンファレンス				
当直			当直					

東京都済生会中央病院 研修施設群における研修者(A, B)のローテーション例：セルの最小幅は3か月

施設類型	指導医数	施設名	主たる研修内容	1年目		2年目		3年目			
				A	B	A	B	A	B		
基幹研修施設	3	済生会中央病院	救命救急センター (ER/ACS/EICU)	A	B	A	B	A	B		
基幹研修施設	3	済生会中央病院	院内他科研修 (内科・循環器、脳外科、整形外科、麻酔科、放射線科、内視鏡等)		A	A				A	A
				B	B					B	B
二次救急施設	0	北里研究所病院	救急・内科診療、地域医療				A				
二次救急施設	0	東京高輪病院	救急・内科・外科・脳外科・形成外科診療、地域医療				A				
二次救急施設	1	がん研有明病院	救急・集中治療、地域医療								
							B	B			

【問い合わせ先】

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-17

東京都済生会中央病院教育研修センター臨床研修室

竹田 修

電話番号：03-3451-8156（直通）、FAX：03-5444-3590、E-mail：kkc@saichu.jp